

産業廃棄物処理計画書		令和4年5月20日															
静岡県知事 川勝 平太 殿																	
提出者																	
住所 焼津市小川3657番地																	
氏名 株式会社 エス・ロード																	
代表取締役 太田 賢二																	
電話番号 054-623-0035																	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。																	
事業場の名称	株式会社エス・ロード																
事業場の所在地	焼津市小川3657番地																
計画期間	2022/4/1から2023/3/31																
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																	
① 事業の種類	建設業 総合工事業																
② 事業の規模	売上高 59,547万																
③ 従業員数	18人																
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"><tr><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">産廃の排出</td><td>⇒</td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">収集運搬</td><td>⇒</td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">処分</td></tr><tr><td>* 自社排出</td><td></td><td>* 自社収集運搬</td><td></td><td>* 中間処理業者</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* 収集運搬業者へ委託</td><td></td><td>* 最終処分業者</td></tr></table>		産廃の排出	⇒	収集運搬	⇒	処分	* 自社排出		* 自社収集運搬		* 中間処理業者			* 収集運搬業者へ委託		* 最終処分業者
産廃の排出	⇒	収集運搬	⇒	処分													
* 自社排出		* 自社収集運搬		* 中間処理業者													
		* 収集運搬業者へ委託		* 最終処分業者													

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役



現場代理人



総務部

・産業廃棄物抑制、再利用促進の指示

・収集運搬業者及び処分業者の選定、打合せ等
・再生資源計画書、マニフェスト作成・電子マニフェスト登録
・産廃委託契約書の作成、締結
・排出及び収集運搬実績の確認、集計
・年間廃棄物の書類作成、定期報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（2021年度）実績】

産業廃棄物の種類

※別紙のとおり

排 出 量

1003.91 t

t

(これまでに実施した取組)

廃棄物分別の意識付け
再生資源の利用
エコアクションの教育

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

※別紙のとおり

排 出 量

900.00t

t

(今後実施する予定の取組)

再生資源の積極的活用
排出量削減における施工管理
各方面への協力依頼
優良認定業者への排出

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

がれき類(ASガラ、CONガラ)の分別
木くず、紙くず等はコンテナ回収

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

がれき類(ASガラ、CONガラ)の分別の徹底
コンテナ回収物の資源分別

【前年度(2021年度)実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	混合(管理型)	木くず	建設汚泥	金属くず		
	排出量	787.00	185.26	9.22	12.73	0.66	9.04		
									1003.91
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	混合(管理型)	木くず	建設汚泥	金属くず		
	排出量	700.00	180.00	7.55	10.00	0.45	2.00	900.00	
									900.00

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙のとおり	
	全処理委託量	1003.91 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	11.20 t	t
	再生利用業者への処理委託量	992.71 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) —		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙のとおり	
	全処理委託量	900.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	8.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	892.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>請負う工事により量が激変するため、削減が難しい部分が多いが、創意工夫し施工を取り組みたい。 出来る範囲で優良認定業者に排出するようにしたい。 優良認定処理業者や再生利用業者と契約を進めていきたい。</p>			
※事務処理欄			

【前年度(2021年度)実績】									
産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	混合(管理型)	木くず	建設汚泥	金属くず			
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	11.20	0.00	0.00			
①現状 再利用業者への処理委託量	787.00	185.26	9.22	1.53	0.66	9.04			
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
排出量	787.00	185.26	9.22	12.73	0.66	9.04			

1003.91

【目標】									
産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	混合(管理型)	木くず	建設汚泥	金属くず			
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	8.00	0.00	0.00			
②計画 再利用業者への処理委託量	700.00	180.00	7.55	2.00	0.45	2.00			
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
排出量	700.00	180.00	7.55	10.00	0.45	2.00			

900.00

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。